

高瀬神社社報

# 越中一宮

第9号

平成18年4月1日

越中一宮高瀬神社

<http://www.takase.or.jp/>

撮影:南部写真館 南部 栄氏





毎日毎日を何も考えずに平凡に生活していると、一日の過ぎて行くのが長く感じますが、仕事に追われていると短く感じます。同じ一日（二十四時間）なのにどうして、と思うのですが、皆さんはどのように感じておられるでしょうか。

何もしないし、何も考えないで一日を過ごしてしまったり、無意識に時間を経過させてしまったりというのは身体共に老化を促進する要因となるようです。ですから、できるだけ多くの事柄に耳目を傾けて多様な思考や行動をすることが大切かと思えます。限られた時間を大切にしなければならぬと、あらためて感じるこの頃です。

自分の一日を振り返ってみると、有意義な一日であったと思う日

とそうでなかった日と大別することが出来ます。自分の中では、取るに足らないつまらない事柄であっても、他の人にとっては、同じ事が重要な事であるかもしれません。各種各様の思いがそこにあるのだらうと思えます。自分勝手な判断で、唯つまらぬと切り捨てることは少々考えが浅くはないだろうかと思えます。

『その時、歴史が動いた』というNHKの番組があります。歴史を大きく動かした「その時」に焦点をあて、その瞬間の人々の決断や苦悩を描いています。私も楽しみに見ております。ひとつの事象が起きるときは、長短の別はあっても、ある程度の時間が必要でありますし、その時間の中で、心や身体がどのように動いたのか、関わった人々

ちそれぞれの時間の使い方や考え方によって「その時」が生まれてきたのだと思います。同じ時を生きているにもかかわらず、自分のおかれているその時の環境によって、考え方や感じ方が違ってくるわけであり、結果も異なってくるわけであります。

例えば、私の中で「四月十日」という一日を取り上げて見ますと、まず高瀬神社の春季祭が連想されます。この春祭りがいつから四月十日になったかは不詳ですが、理由があつてこの日になったことは間違いありません。高瀬神社がこの地に御鎮座になって以来、この日が春祭りの日であつたとすれば、約二千回の祭儀が斎行されたこととなります。このように春祭りの一回一回が長い時間の累積によって続けられてきているという事実が今現在、歴史としてあるわけであり、これに関わってきた神職や氏子の計り知れない思いや奉仕ぶりが積み重なって今日に至っているということがあります。従って「春祭りは昔からこの日だから。」

という単純なものではないといえると思います。

高瀬神社の春季祭が行われてきた四月十日という日。一六三六年には日光東照宮の御造管が始まりました。また、一七九四年にはアメリカのペリーが生まれました。更に一九四六年には選挙法の改正がなされ、女性国会議員が誕生し、「婦人の日」が制定されました。一九五九年は皇太子殿下（今上陛下）の御婚礼の御儀が行われました。四月十日という一日だけでも数多くの事象が生まれ、行われてきています。

単に一日のことかもしれませんが、その一日が当事者にとって重要な意味を有していると思ふのです。だから「その時」を大切にしたいのです。少なくとも無駄な一日だったと反省するようないいことのないように毎日をお過ごしたいものです。ことわざの中に「時は金なり」というのがありますが、深い意味のことわざだと思えます。



寄稿「思い出」

責任役員 藤井義雄

「ドーボン」と音がして、水面に「つるべ」が落ち、小さい子供が二人でロープを引く。長い長い、重たい「つるべ」の姿は見えない。「まだかあー」と思いながら井戸水を汲んだ。そして「ウマイ、ウマイ」と夢中で飲んだ。

昭和十年頃の神社の古ぼけた旧御厨の建物の中にあつた井戸で深さ十七間あつた。

今は神社の様子も変わり、旧本殿は功霊殿となり、拝殿も取毀され、井戸もなくなつた。当時、神社の境内は広く、子供の遊び場であり、交遊の場でもあつた。高瀬神社は古来から一の宮と称えられ、格式高い神社として、大正十二年六月十六日、国幣小社に昇格した。戦時中は近隣の小学校児童や福野農学校生徒達も隊列を整え参拝し、高瀬神社奉讃歌を歌つたものである。私にも記憶がある。

昭和四十四年より始まつた県営圃場整備事業によつて、道路・水路等が整備され、交通の便が良くなるにしたがい、鳥居や社標が大きく造り替えられ、一の宮としての風格が出てきた。

一方では、旧参道の入口に、明治初期の頃に建てられた『越

中国一の宮高瀬神社』の社標が、今もひっそりと建つて居るが、近くに寄つて眺める人も少ない。鎮守の杜の木立が一昨年の台風で、百本程倒木して、森蔽さがなくなり、寂しい思いをしていたところ伊勢の神宮より松木苗を拝戴することができた。早速植樹祭をして、氏子一同で植えた。一日も早い成長を願つて

いる今日この頃である。私も諸国の「一の宮」を多く参拝して、それぞれの神社の神気に接することができ、毎日すがすがしい気分浸っている。

初詣の参拝者も二十数万人となつた。多くの人々に高瀬の神様の鎮まる神域に宿る奇しく妙なる神気に触れていただきたい。また、清浄なる雰囲気の中で参拝の人々の祈願の誠心を叶えてあげたいと思う。戦後の激動期、大きな変化の時代を経て、今日の神社の姿を造つた歴代の宮司さん、氏子、崇敬者各位の熱い思いがあつたからこそ今の姿があるのだと思う。我々氏子は「一の宮」の氏子として誇りを持ち、神明に奉仕し、神社の末永い繁栄と地域の発展、崇敬者各位の弥栄を共に祈りたい。

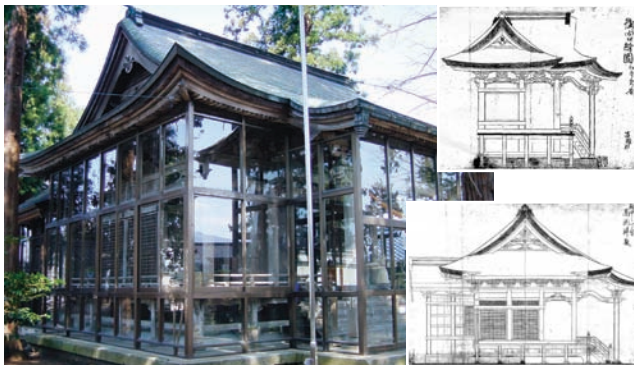
高瀬ゆかりの地を訪ねて ⑥

「是安神明宮」

高瀬神社は大正十二年六月十六日に国幣小社に列し、その昇格により社殿が御造営されることとなり、昭和十八年より工事が始まり、基礎工事が完了したところで大東亜戦争終結をむかえました。そのため国費で賄われる費用も無くなり、地元有志の浄財と「屋敷林」の杉木を抛出して建てられ、昭和二十四年に現在の社殿が建立されました。

旧本殿（現功霊殿）は文化十年（一八一三）設計、天保八年（一八三七）松井角平恒久の手により建立されました。屋根は流れ造りの設計でしたが、実際は唐破風となつており途中で設計変更されたことがうかがえますが、当時の井波彫刻の粋を尽くしたものでした。恒久は松井家十二代、角平襲名三代目であります。

旧拝殿は松井家初代角平が手がけ、当初は柿葺の屋根でしたが、寿命が二十年程と短



いこともあつて幾たびか修繕がなされ、当地域独特の茅葺も一部用いられるようになっていきました。昭和十八年九月八日南砺市是安（旧城端町）鎮座「是安神明宮」に譲与されることとなりました。現在は銅版葺になりましたが、かつての面影を今に残しています。（資料提供）

・井波歴史民俗資料館 山森伸正氏

# 祭事暦

## 紀元節祭齋行

去る二月十一日午前十時より「紀元節祭」が齋行されました。  
宮司祝詞奏上につづき、「福野松風会」「尚道流玉風会」会員三十七名により吟詠と詩舞が奉納され、神武天皇の御威徳に感謝しました。

また、功霊殿でも吟詠奉納があり、御英霊に感謝の誠を捧げました。

- ・奉納曲
- ・御本殿
- 「山行」「山居」「越中」
- 「称名滝を詠ず」
- 「岐阜竹枝」「自訟」
- 「天文山を望む」
- ・功霊殿
- 「立山を望む」
- 「富士山」



## 献穀田のこと

「平成十八年高瀬神社献穀田」が井波地域中核農業士協議会(金田久志会長)により奉耕されます。本年の奉耕者は岩崎宏志氏に決定し、去る三月二十二日に種籾の清祓式が執り行われました。南砺市岩屋の水田で、五月下旬に「御田植祭」九月中旬に「抜穂祭」が齋行され、神饌米としてお供えされます。

### 岩崎宏志氏

南砺市岩屋在住

本年奉耕者



今年の献穀田を奉耕させていただくことになりました。先輩方のアドバイスを受けながら一所懸命作りたと思いますので、宜しくお願いいたします。

## 「夏越の大祓」の御案内

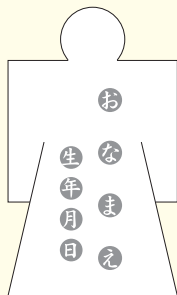
・日時 六月三十日(金) 午後三時より



茅の輪くぐり

「大祓」は知らず知らずのうちに犯した罪穢つみけがれを半年に一度祓い落として元の清らかな心身に帰り、続く半年も健全に過ごすようにと願う神事です。拝殿にて齋行、「大祓詞」が奏上され、各人が「人形」に罪穢を移し、特に「夏越の大祓」は前庭に設けられた「茅の輪」をくぐ

り心身を健康に、これらの暑い夏を乗り切ります。



※ご希望の方には案内状を送付いたしておりますので、社務所までおたずね下さい。

## 参 拜 日 誌 抄

(敬称略)

(平成十七年十二月～平成十八年二月)

## 「十二月」

十日

神社庁東西砺波支部

十三日

神社本庁録事 神保公真呂

神社本庁録事 武田淳

大形神社禰宜 寺山仁文

有磯正八幡宮宮司 上田正宙

二十三日

初詣巫女認証奉告祭

## 「一月」

一日

南砺市助役 清都邦夫

南砺市消防団 井波方面団

砺波市庄川支所長 雨池弘之

砺波市消防団 庄川方面隊

砺波市消防団 庄下分団

砺波市消防団 中野分団

西日本旅客鉄道(株)金沢支社

二日

砺波市消防団 柳瀬分団

砺波市消防団 太田分団

成和建设(株)

成建運輸(株)

高岡石産(株)

成和興産(株)

三日

(株)ゴールドウイン会長 西田東作

(株)越路ガーデン

(有)才川造園土木

福野糸瓜句会

福光運輸(株)

(株)全ト運輸

(有)佐々木運輸

東砺倉庫(株)富山営業所

四日

米原商事(株)

川田工業(株)

川田建設(株)北陸支店

砺波信用金庫

(有)昭信機工

庄川興業(株)

ユーシン建設(株)

笹嶋工業(株)

北陸電気工事(株)高岡支店

電力部配電二課

(株)橋梁メンテナンス北陸事業所

(株)北陸銀行井波支店

(株)北陸銀行福光支店

大和トランスポート(株)

第一産業(株)

イルカ交通(株)

高陵タクシー(株)

第一編物(株)

(株)環境総合テクノス庄川営業所

若林遺族会

(財)北陸電気保安協会

となみ野事務所

(有)マツイ・コーポレーション

(株)佐藤・渡辺砺波営業所

今井重機建設(株)

(株)北陸ライナー

丸一工業

巨京運輸(有)

(株)エイゼット

(株)北陸銀行庄川支店

金沢信用金庫福光支店

金沢信用金庫砺波支店

(株)御菓蔵

(株)富山第一銀行福野支店

(株)富山第一銀行井波支店

五日

(株)藤井組

日本通運(株)砺波支店

(株)神能工務店

松本建設(株)(砺波市)

たち建設(株)

たち建設運輸(株)

(株)創和開発

(株)齊藤組

木村産業(株)

(有)安念土石工業

(有)安念土石運輸

第一交易(株)安全互助会

(株)得能組

北陸電力(株)となみ野営業所

米原商事(株)整備センター砺波工場

池田工業(株)

(株)松本建設(庄川町)

梅本建設工業(株)

市堰建工(株)

上田工業(株)

(有)上田建設運輸

得能建設工業(株)

(株)横川組

石黒自動車工業(株)

井波ダイケンプロダクツ(株)

吉井工業(株)

片山工業(株)

サンエー建工(株)

野原工業(株)

丸三工業(株)

北陸プレハブ輸送(株)

(株)沖田組

パナソニックエレクトロニクス

デバイス富山(株)

(株)日本ビルサービス

日ビル商事(株)

(有)葭田組

日の出屋製菓産業(株)

日の出屋製菓産業(株)柿山本店工場

日の出屋製菓産業(株)本社工場

日の出屋製菓産業(株)

ささら屋福光本店

(有)喜八食品

(株)明治薬研

(株)松本土建

ヴァンライズ(有)



(有)山崎ミニコン

(株)NSG関西北陸事業所

(株)ビックモーター石崎

(有)ファームズエンジニア福光

大輝設備

第一交易(株)

(株)北陸電力リビングサービス

となみ野営業所

北陸電力(株)利賀営業分所

六日

(有)森田電気商会

陸上自衛隊富山駐屯地

(株)神下組

タカハタ工業(株)

第一レンタル(株)

(株)福光石工

三栄自動車工業(株)

(株)高清組

砺波重機(株)

宗景造園

(株)富山クボタ戸出営業所

(株)富山クボタ高岡南営業所

(株)富山クボタ井波営業所

(株)富山クボタ南砺営業所

北陸プレハブ(株)

(有)さつき堂

(有)アイテック

(株)南砺工業所

井波テキスタイル(株)

(株)キセキ北陸砺波営業所

(株)寺田

津田工業(株)富山工場

第一プロデュース(株)

(有)第一ワークス

(社)となみ青年会議所

(株)オーテクト

(株)オーテクト金沢営業所

七日

セندگان電子(株)

(株)ホンダロック富山工場

(株)タカギセイコー福光工場

(株)砂土居造園

戸出運輸(株)

ふるさと配管

笹谷工業(株)

山ワ建設工業(株)

八日

南砺市遺族会井波支部

九日

米原商事(株)レッカー事業部

藤井神商店

中山工業(株)

大當興業(株)

十日

伏木神社宮司 尾崎定輝

協立アルミ(株)本社工場

協立アルミ(株)井口工場

辻建設(株)南砺支店

辻建設(株)災害防止協会南砺支部

(株)日平トヤマ富山工場

日平トヤマ労働組合

トヤマ機工(株)

(株)ディエスケイ

越中井波八乙女風神太鼓

十一日

射水神社宮司 松本正昭

森田建設(株)

石島(株)

理容プラーージュ高岡店

理容プラーージュ大島店

理容プラーージュ氷見店

理容プラーージュ富山天正寺店

理容プラーージュ砺波店

十二日

日枝神社宮司 平尾旨明

(株)高桑工務店

(株)高桑工務店桑栄会

十三日

雄山神社前立社壇宮司 佐伯 勉

(株)フアブリカトヤマ福野第一工場

十四日

富山県神社庁参事 近尾昌幸

富山県神社庁主事 林 英樹

富山県神社庁録事 松尾 樹

立正佼成会東西砺波支部

十五日

高宝会

三五教富山主会

十六日 富山縣護国神社宮司 梅野守雄

二十一日

神社庁東西砺波支部

二十三日

石黒建設(株)北陸支社

富山石黒会

二十八日

愛知県神社庁尾北支部

(有)福光急便

福光産業(株)

三十一日

藤沢電工(株)富山工場

「二月」

一日

富山県電気工事工業組合南砺支部

二日

森田市五郎襲名奉告祭

五日

熱実山参拝団

十八日

神社庁東西砺波支部

二十三日

埼玉県神社庁人間支部川越分会

※一月一〜三日の初詣団体参拝につきましては予約参拝をされました方を記載させていただきました。

### 平成十八年初詣

本年の初詣三が日は、年末の大雪の影響も無く、元旦は晴れの天候となり、二十万五千人（昨年二十万人）という大勢の参拝者で賑わいました。周辺道路は関係機関により除雪が行われ、また、境内は



(株)藤井組の勤労奉仕により雪のない参道を確保いたしました。尚、三が日は例年にならない氏子・旧高瀬村区域・功霊殿奉斎会の皆様にご奉仕いただき、事故もなく初詣期間を終えることが出来ました。



一月三日、「福野糸瓜句会」（梅島くにを会長）による初詣句会が開催されました。奉納句は以下の通りです。

- ・初髪の巫女の元結金と銀
- ・お降りの雪に変わりしめでたさよ
- ・破魔矢売る鳳凰殿を明け放ら
- ・脇床の破魔矢の白の潔し
- ・巫女の髪ゆたかに長し明けの春
- ・新春の書院に飾る獅子頭
- ・初巫女の手のしなやかに御鈴の儀
- ・金屏にとどく豊かな実南天
- ・束ねたる黒髪ゆたか巫女の春
- ・襟の紅華やぎて神近く
- ・参道に百の提灯初詣
- ・雪晴れの元旦とほめでたけれ
- ・初暦かけて老にも夢少し
- ・天平の雪の遺跡を恵方とし
- ・鈴を振る緋袴の巫女初々し
- ・福鈴の十五の音や初被ひ
- ・生涯に巫女装束といふ春着
- ・初明り砺波野を守る一の宮
- ・初詣雅楽に合せ歩とすゝめ
- ・福鈴を一門に享け初句会
- ・神杉のつらぬくみどり去年今年

- 梅島くにを
- 成瀬 雄達
- 三宅 静枝
- 長谷 登世
- 野原すみ子
- 森松 和子
- 高桑 昌女
- 岡部 吉女
- 福島 はま
- 藤井 乃婦
- 福島 秋子
- 竹部 時夫
- 北川 越草
- 新山 武子
- 直井 春枝
- 森田 桂子
- 窪田富美子
- 三浦 葉子
- 佐々木春子
- 北川 秀子
- 桜井 恵子



### 御案内

#### 御祈禱

家内安全・交通安全・初宮詣・安産祈願・厄除・人生儀礼など「御祈禱」は毎日午前八時三十分より午後四時三十分まで随時受け付けております。

#### 祭典・結婚式等で御奉仕できない時間帯も

ありますので、お出かけの際は社務所までおたずね下さい。



#### 「私たちの人生儀礼」

げんぶくいわい

#### ◆元服祝(男子)

十五歳(平成四年生)

かみあげいわい

#### ◆髪上祝(女子)

十三歳(平成六年生)

※男は男らしく、女は女らしく成長してほしいと祈る人生儀礼です。どうぞ、ご家族お揃いでお参り下さい。

#### 「第七回人形感謝祭」

古くなった日本人形やぬいぐるみに感謝し、おわかれをするお祭りです。祭儀を行った後、お焚き上げいたします。

日時 七月十六日(日)

午前十時より

十一時まで

受付 当日のみ受付いたします。初穂料 社務所へおたずね下さい。

#### 「第六回人形展」

第一期一会

日時 七月十五日(土)

十七日(海の日)

場所 参集殿「平成殿」

※入場無料



#### 「奉納」

○境内除雪作業

南砺市坪野

(株)藤井組 代表 藤井秀之

○「カレンダー」

南砺市高瀬

南砺市立井波高瀬保育園



#### 編集後記

「平成十八年豪雪」と命名されるように、年末年始は大変な大雪に見舞われましたが、元日だけは晴天に恵まれました。大神様のおかげであり、感謝感激でありました。

本号に責任役員の藤井義雄氏からご寄稿いただきました。厚く御礼を申し上げます。

幸せな貴方をなおいっそう輝かせる  
ブライダルコスチューム

## ブライダルサロン アマス

高岡店  
高岡市大手町2-18(定塚町通り)  
TEL(0766) 24-4114

富山店  
富山市西中野本町9-6(西中野電停前)  
TEL(076) 425-8733

